

# 1 単元名 都道府県の調査

「都道府県の調査(2) ~福岡県~」(全6時間) 南濃町立城山中学校 片桐 一

## 2 単元のねらい

- 福岡県は、古くから九州地方の中心地であり、現在も九州地方の中核としての機能を持った県であることを、理解することができる。
- 「歴史的な背景」、「現在の福岡県の様子」、「諸外国との交流」の3つの視点から追究をして、福岡県の地域的特色をとらえることができる。

## 3 単元で培いたい学び方

都道府県に関する統計資料や主題図などを収集・検討し、地理的事象からテーマを設定し、「歴史的な背景」、「現在の都道府県の様子」、「諸産業との関連」などの視点から追究をする学び方。

## 4 内容のまとめりごとの評価規準 地理的分野の内容(2)イ 「都道府県」

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
都道府県に対する関心を高め、その調査に意欲的に取り組み、都道府県の特徴をとらえようとしている。	都道府県の地理的事象から課題を見だし、それを環境条件や人々の営みなどと関連付けて多面的・多角的に追究するとともに、都道府県規模の地域的特色をとらえる視点や方法を考察している。	都道府県に関する地図や統計その他の資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに、都道府県の特徴を追究し考察した過程や結果をまとめたり、発表したりしている。	都道府県の特徴とともに、都道府県規模の地域的特色をとらえる視点や方法などを理解し、それらの知識を身に付けている。

## 5 単元の評価規準

	ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
単元の評価規準	福岡県に関する多くの情報を収集・検討して、福岡県の特徴を明らかにできる学習課題を意欲的に追究している。	福岡県は古い歴史を持ち、昔から九州の中心として栄えてきており、現在も政治・経済・文化の中心としての働きをしているので人々が集まってくることを、複数の資料からとらえて、説明することができる。	福岡県の写真・統計資料・主題図等から、アジア諸国との交流の拡大を図り、国際交流の拠点とし発展をめざす福岡県について自分の考えをまとめ、表現することができる。	九州地方における福岡県の、地理的位置、歴史的役割や現在における位置について、資料をもとに理解する方法をつかみ、その知識を身につけている。
学習活動における具体的評価規準	① 県別統計からつかんだ福岡県の特徴を、テーマを1つ決め、探求の見通しを持ち、意欲的に追究しようとする。 【第1時 ノートへの記述】	② 資料を的確に読み取り、福岡県が歴史的にどう発展してきたかを、「古代・中世における大陸との交流」「明治における近代工業の発展」「現在の新たな産業への転換」という視点から記述できる。 【第2時 ノートへの記述】 ③ 人々が集まる理由を、写真や図など複数の資料から事実を2つ読み取り、理由をつけてわかりやすく説明できる。 【第3時 発言内容】 ③ 福岡県にアジアの人々が集まる理由を、「所要時間の短さ」「国際線の行き先」「外国の施設」から考えて、記述できる。 【第4時 ノートへの記述】	① 福岡県の国際交流に関する多くの情報を選択して収集・整理し、聞く側に分かりやすいように表現する方法を検討し、レポートにまとめることができる。 【第5時 レポートへの記述】	① 福岡県が九州地方の中心として栄え、現在も九州の中核都市である理由を、歴史的な背景、現在の県の様子、諸外国との交流から理解することができる。 【第6時 イラストマップへの記入】

